

職員手当

職員には給料のほか、各職員の生活実態や勤務条件の違いなどを考慮して手当を支給しています。おもな手当は次のとおりです。

【扶養・住居・通勤・地域手当(令和3年4月1日現在)】

扶養手当	▶配偶者=6,500円 ▶子=1万円 ▶父母など=6,500円 ▶16歳~22歳の加算=5,000円
住居手当	▶借家=限度額27,500円
通勤手当	▶交通機関利用者=限度額5万5,000円 ▶交通用具利用者=限度額3万8,100円
地域手当	▶東京都23区在勤者=給料、扶養手当などの合計額の20% ▶医師=給料、扶養手当などの合計額の16%

【特殊勤務手当(令和2年度)】

▶職員全体に占める支給職員の割合=27.3%
▶1人あたりの平均支給年額=3万3,000円
▶手当の種類=市税等賦課徴収手当、福祉事務現業手当、救急手当など、21種類

【時間外勤務手当(令和2年度)】

▶支給総額=4億6,349万円
▶1人あたりの平均支給年額=20万3,000円

【期末・勤勉手当の支給割合(令和3年4月1日現在)】

期末手当	▶6月期=1.225月分 } 合計 ▶12月期=1.225月分 } 2.45月分
勤勉手当	▶6月期=0.925月分 } 合計 ▶12月期=0.925月分 } 1.85月分

*職制上の段階や職務の級などにより加算措置があります。

【退職手当の支給割合(令和3年4月1日現在)】

基本額	自己都合退職	勸奨・定年退職
20年勤務	19.6695月分	24.586875月分
25年勤務	28.0395月分	33.27075月分
35年勤務	39.7575月分	47.709月分
最高支給限度	47.709月分	47.709月分

▶調整額=職員の在職区分に応じて定める調整月額(0円~5万9,550円)の60月分

▶1人あたりの平均支給額(令和2年度)
=1,921万5,000円 *平均勤続年数は35年5月。

一般行政職の級別職員数(令和3年4月1日現在)

職員の給料は、職務と責任の程度などに応じて、下記のとおり1級~8級に区分されています。

*()内は級ごとの代表的職名。%は全体に対する割合です。

- ▶1級(主事・技師)=177人/13.2%
- ▶2級(主事・技師)=220人/16.4%
- ▶3級(主任・主査)=205人/15.3%
- ▶4級(主査・主席主査)=443人/33.1%
- ▶5級(課長補佐)=156人/11.7%
- ▶6級(課長)=95人/7.1%
- ▶7級(次長)=29人/2.2%
- ▶8級(部長)=13人/1.0%



特別職の給料など(令和3年4月1日現在)

給料 | 市長=105万5,700円(117万3,000円)
副市長=85万4,050円(89万9,000円)

*本来の給料月額から、市長は10%、副市長は5%を減額しています。()内は本来の額です。

報酬 | 議長=70万4,000円 副議長=65万5,000円
議員=62万5,000円

▶期末手当の算定式

$$= \text{給料月額など} \times 100 \text{分の} 120 \times \text{支給割合}$$

▶支給割合

=市長・副市長…6月期・12月期ともに1.6月分で、合計3.2月分

=議長・副議長・議員…6月期1.575月分、12月期1.6月分で、合計3.175月分

*市長は算定額から10%、副市長は5%を減額しています。



職員配置の適正化に努めています

令和3年4月1日現在、市の総職員数は2,602人。これは、一般職に属する職員数で、地方公務員の身分を有する休職者、派遣職員などを含み、会計年度任用職員などを除きます。

【各部門の内訳】…()内は前年度比

▶一般行政=1,488人(-5)…議会、総務、税務、民生、衛生、労働、農林水産、商工、土木

▶特別行政=800人(+6)…教育、消防

▶公営企業など=314人(+4)…病院、水道、下水道など

秋田市職員採用試験 [職務経験者(保健師)]

来年4月採用予定の秋田市職員を募集します。試験区分は職務経験者(保健師)で、定員は若干名。詳しくは、下記の配布場所にある受験案内書をご覧ください。市ホームページからもダウンロードできます。

◆広報ID番号 1029030

【受験資格】 昭和47年4月2日以降に生まれ、保健師資格があり、保健師としての職務経験があるかた

【第一次試験】 試験日▶11月7日(日) 試験会場▶秋田市役所または「SPIテストセンター」

*SPIテストセンターの場合、11月7日(日)までに受けてください。全国主要都市などに設置されます。詳しくは、受験案内書でご確認ください。

試験方法▶基礎能力検査(またはSPI3)、面接試験

【受験案内書の配布場所】 市役所1階総合案内、4階人事課、各市民サービスセンター(中央を除く)、駅東サービスセンター、秋田市移住相談センター(東京都千代田区)、同八重洲センター(中央区)

【受付期間と場所】 10月22日(金)までに人事課へ(当日消印有効)

問い合わせ▶人事課☎(888)5429

*SPIテストセンターは、「SPI3」(基礎能力および性格検査)を受ける会場の名称です。

市役所でランチを テイクアウト!



市役所本庁舎の市民の広場で、11月15日(月)(予定)までの平日ランチタイムを中心に、移動販売車が1日2~4台出店!パン、弁当類、焼き菓子、ホットドッグなどメニューもいろいろ!ぜひお立ち寄りください。

各店の出店状況や販売メニューは、市ホームページをご覧ください。

◆広報ID番号 1029436

出店時間▶11:00~18:00

*上記は販売許可時間となりますので、事業者の都合により途中で閉店する場合があります。

問い合わせ▶財産管理活用課☎(888)5439



よりよい市政運営をめざして 秋田市職員給与の概要

市職員の給与は、国や他の地方公共団体との均衡を考慮しながら、市議会の審議を経て条例で定められています。詳細は12・13のとおりでです。

問い合わせ▶人事課☎(888)5429

人件費(令和2年度普通会計決算)

人件費は、一般職給与・特別職給与・退職手当・共済組合に支払う負担金・公務災害補償費などの合計です。

- ▶令和2年度人件費(A)=215億2,589万円
- ▶令和2年度歳出額(B)=1,811億264万1,000円
- ▶令和2年度人件費率(A÷B)=11.9%

職員給与費(令和3年度普通会計当初予算)

職員給与費(会計年度任用職員は除く)は、給料と扶養・通勤・住居・時間外勤務・期末・勤勉・児童など、諸手当の合計です。ただし、退職手当は除きます。

- ▶令和3年度給与費(C)=148億3,675万8,000円
- 【内訳】給料▶93億7,309万8,000円、職員手当▶19億1,467万9,000円、期末・勤勉手当▶35億4,898万1,000円
- ▶令和3年度職員数(D)=2,572人
- ▶年間1人あたりの給与費(C÷D)=576万9,000円

*上記の金額は、普通会計(一般会計と市有林会計の合計)の数値です。他都市と比較しやすくするため、普通会計による公表を行っています。

職員の給料(令和3年4月1日現在)

職員の給料は、職種、採用区分、経験年数、役職の段階などによって決まります。

▶一般行政職の給料 (月額)

経験年数	大学卒程度	高校卒程度
初任給	18万1,928円	14万9,610円
採用2年経過後	19万3,708円	15万8,067円
5年以上10年未満	22万9,700円	19万2,600円
10年以上15年未満	26万4,500円	22万2,800円
15年以上20年未満	31万6,800円	27万6,000円

▶1人あたりの平均給料月額=30万8,800円

*平均年齢42.3歳です。